

## 第6分科会 3グループ

2010・11・12

於：私立大学情報教育協会  
大学職員情報化研究講習会

## メンバー紹介

- |               |      |
|---------------|------|
| ● 共立女子大学      | 島田美紀 |
| ● 駒澤大学        | 慶田好洋 |
| ● 東洋大学        | 清水信彦 |
| ● 新潟薬科大学      | 布川和明 |
| ● 南山大学        | 二村 裕 |
| ● 立命館アジア太平洋大学 | 後藤裕子 |
| ● 鹿児島国際大学     | 深道涼子 |
| ● 株式会社朝日ネット   | 高野惣太 |

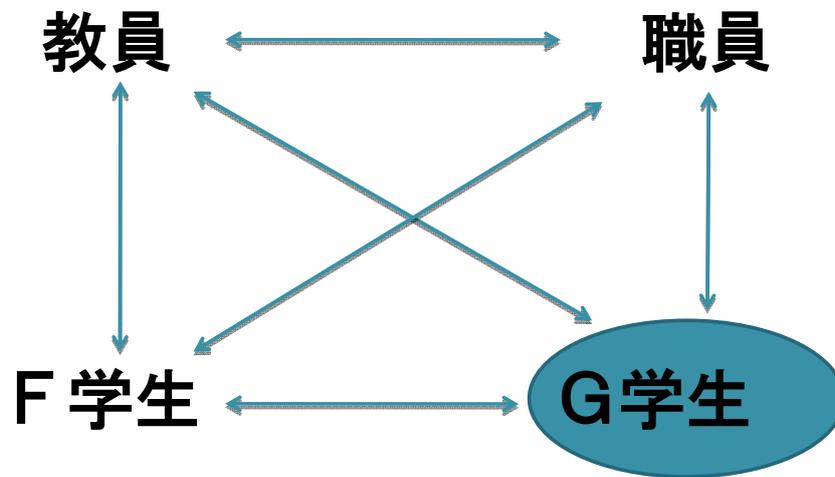
# 離脱防止のためのSNSを活用した早期発見プログラム

問題を抱えている学生を早期に発見し、現状を把握することで、離脱を防止するための対面とSNSを活用した支援をブレンドして学生の実態に応じた対応をするプログラムを提案

## 各大学の問題点

- 対人関係で悩み、退学する学生が多い。
- 授業についていけない学生が多い。
- 学生間で集まれる場所がない。
- 地理的な要因で入学前教育に参加できない学生がいる。
- 授業外での教員とのコミュニケーションの場がない。
- e-ポートフォリオへの職員の関わりが薄い。
- 対面コミュニケーションが苦手な学生への支援の方法がない。

## 学生支援の構図



F学生 = 普通の学生

G学生 = がんばれ学生

## G学生の定義

- 授業についていけない
- 友人関係が築けない
- 不本意入学者
- メンタル的な問題がある

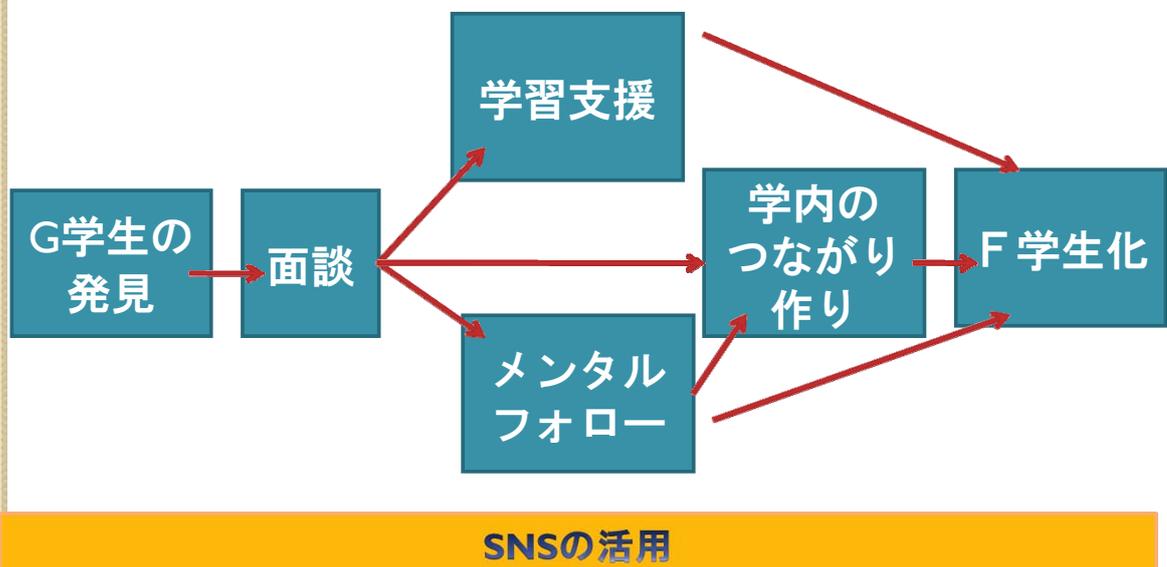
# プログラムの目標

G学生の早期発見



F学生化

# フローチャート



## SNSのメリット

- 発言することへのハードルが低い。
- 非対面コミュニケーションがとれる。
- いつでもどこでも、時間や場所を問わず利用できる。
- 共通の興味をもっている人とコミュニケーションがとれる。
- セキュアな環境でコミュニケーションがとれる。

## SNSで何をするのか？

- SOS発信板（掲示板）  
⇒匿名の学内掲示板・ご意見箱としてG学生がSOSを伝える手段。
- オンラインチュートリアル（教員・TA）  
⇒SNSの知識がない学生も気軽に参加できるツール。
- eラーニング（リメディアル教育で利用）  
⇒学生の学力不足を補うため、復習・補修等のeラーニング教材を配信。
- 先輩への質問板（先輩とのSNS）  
⇒履修登録やオリエンテーション時などに、先輩へ気軽に訊ける。
- 学生だけのコミュニティ  
⇒イベント、サークル、ゼミなど様々な目的で自由に話す場として使用。
- 面談記録の共有（教職員間）  
⇒教員一職員間での情報共有のための連絡ツール。
- 職員からの事務連絡  
⇒職員から教員、職員から学生などの必要な連絡事項をSNSを通じて行う。

# SNSの構成

## 参加メンバー

教職員・学生全員

## 構成単位

1. 全員参加
2. 学年・学科単位
3. 目的・趣味嗜好別

# 職員の担う業務

- G学生発見（出欠記録、SNSでの発言等）  
→ 該当学生への対応
- 面談記録作成、管理
- コミュニティ管理
- 学生からの質問への回答
- 教員、TAへのSNSの周知・利用促進

## まとめ

対面とSNSを活用し、G学生を早期に発見し、学生の実態に応じた支援を行うことで、G学生の離脱を防止できる。



F学生化

## 実現への課題

- 教員のSNSへの参加率
- 学生がSNSへのしかけ作り
- 利用するにあたっての、モラル教育
- ITリテラシーの低い人への対応
- 費用対効果

ご清聴ありがとうございました

